

復興事業の進行状況は

入札不調だがおおむね契約済み

問 26年度は本格復興期間と位置付け、土地収用制度の法的整備による迅速化など、町民は復興加速を現実的に感じられる年度になると期待している。事業進行状況、課題と今後の展望は。

佐藤町長 県や他市町村と同様に応札者がいない、予定価格に達しないなど多くの入札不調が発生している。再度の入札実施や随意契約への移行などで対応し、おおむね契約を締結しているが、厳しい状況は続くと考えている。今後も、取り得る対



工事中の大沢地区高台団地への工事用道路

問 策を最大限に行い、円滑な発注に努めていく。円滑な各地区の区画整理事業の進行状況は。

豊間根信議員

(政 和 会)

佐藤町長 大沢地区は高台団地から区域内に通じる仮設道路を施工中である。山田地区では旧山田病院前のかさ上げ工事を7月ころから着手予定、国道45号周辺の事業は8月の事業認可を目指している。織笠地区は区域内に計画している道路の地盤改良を施工中で、完了後にかさ上げに着手予定である。

山田型復興住宅の進行状況は

6月中には協議会を設立

問 住宅自立再建を計画している町民にとって、資材高騰などの大きな壁が立ちはだかっている中で、非常に大きな期待を寄せられている。進行状況は。

佐藤町長 25年11月に山田町建設業界および大工組合に協議会設立をお願いし、現在は参加する業者の意向確認中である。6月中には協議会を設立し、秋ごろには広報等でモデルプランなどを知らせたい。

問 一坪当たり50万円台をめどに、実際に建てられる形を示せるか。

阿部建設課長 坪単価、

プランや立面・平面図等を提示したい。

浄化槽設置補助の追加対応を

辞退者がいれば再募集

問 下水道処理区認可区域以外における被災者以外の人について、現状の申し込み締め切りだけでは住宅建設戸数に対応しきれないのでは。

佐藤町長 募集基数10基に対し17基の申し込みがあり、普及促進のため17

人に対し補助決定することとしている。25年度は取り下げが多くあったため、26年度は9月ころに希望者に意向調査を行い、辞退者がいる場合は再募集を行い、できる限り要望に応えたい。

その他の質問

◆ 仮設住宅について

◆ 農業について

◆ 山田町地域情報化計画について